

脳内出血患者に対する人工知能を用いた出血拡大と患者予後の予測 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022年12月8日 ～ 2023年9月30日

〔研究課題〕

スモールデータ駆動型機械学習による脳内出血患者の血腫拡大予測および患者予後予測

〔研究目的〕

脳内出血患者を対象として、比較的少数例(数十～数百)の臨床、画像データを基に、機械学習、深層学習の様々な解析法を使用、または組み合わせることにより、スモールデータによる精密な血腫拡大予測および患者予後予測を行うことを目的とします。

〔研究意義〕

脳内出血の出血拡大や脳出血患者の予後を正確に予測することは未だ困難です。これを人工知能による機械学習や深層学習により解析する場合は、一定の正確性を得るために数千例のデータを対象としていることが多く、現在のところ実用化、汎用化は難しい状態です。

これが数十～数百例程度のスモールデータを用いて正確な血腫拡大率や患者予後の予測が可能となれば、ビッグデータを有しない個々の施設のデータでも比較的容易に実用化が可能となり、それぞれ地域性、患者分布に合わせた臨床応用が出来ることが期待できます。

〔対象・研究方法〕

- ・研究デザイン：本研究は後ろ向き観察研究です。
- ・対象：2010年1月から2022年9月の間に当院に搬送された重症くも膜下出血の患者様。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

〔個人情報の取り扱い〕

本研究に係わる全ての情報の取り扱いには研究対象者の秘密保護に最大限配慮します。個人情報をデータ化する際は、患者氏名及びカルテ番号を研究対象者の識別コードに変換します。この際、個人情報との連結表であります「研究対象番号と個人情報の照会に用いる対照表」のデータファイルを作成し、情報管理責任者が厳重に管理し、研究データの照会時のみに用いられます。研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報は含まれません。研究終了後は、それまで使用された資料はすべて臨床研究センターにて10年間保管の後、破棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 後藤芳明 (帝京大学医学部脳神経外科学講座助教)

住所: 〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 8679]